

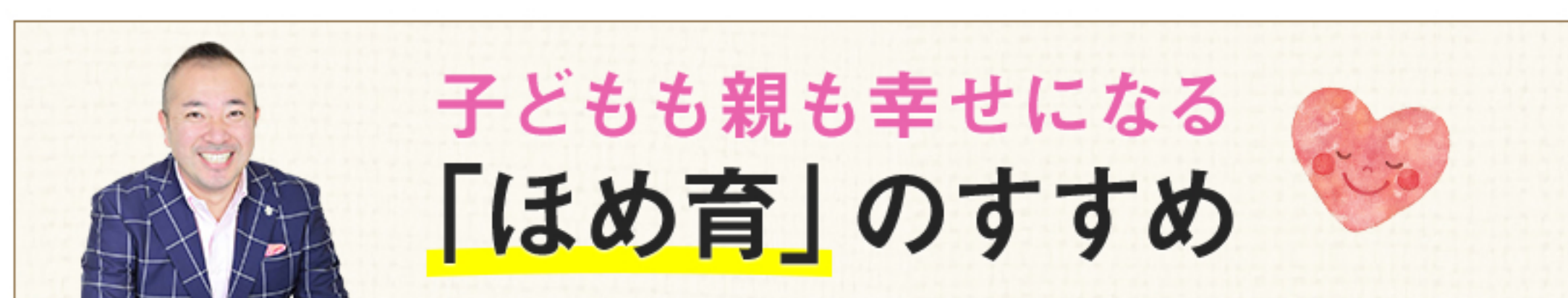
## きょうだいゲンカにイライラ！ 上の子と下の子の「心理」の違いを知っていますか？

子育て・しつけ 2018/12/26 □ 子どもも親も幸せになる「ほめ育」のすすめ

ツイート

いいね！ 48

友だちに教える



今回のテーマは「きょうだいゲンカ」です。

きょうだいゲンカが、毎日のように続くと、「いい加減にして！」と叫びたくなりますよね。でも怒ったばかりに、子どもが泣き出し、収集がつかない…など、うんざりした経験をおもちのお母さんも多いのでは？

そんな悩みがあるなら、まずは上の子と下の子の心理を、それぞれ把握することがポイントです。今回は「きょうだいゲンカにイライラ、うんざり！」しているお母さんに向けて、「認める」ことの提案です。



### 上の子と下の子では、そもそも価値観が違う！

そもそも、きょうだいゲンカは、なぜ起こるのでしょうか？ その答えは、それぞれの価値観が違うからです。ほめ育では、「相手を知ること」を最優先にしています。上の子と下の子、それぞれの気持ちに寄り添ってみてください。解決の糸口が見えてくるはずです。

#### 【上の子の気持ち】

「〇〇（下の子）が生まれるまでは、僕（私）がお父さんとお母さんを独り占めできたのに…」

「前は僕（私）ひとりで遊べたのに…、どうして邪魔するの？」

つまり、上の子は自分のペースを乱されたくないのです。



#### 【下の子の気持ち】

「お兄（姉）ちゃんのおもちゃ、かっこいい！僕（私）も遊んでみたい！」

「お兄（姉）ちゃんの新しい色鉛筆きれい！僕（私）もお絵かきしてみたい！」

つまり、下の子は上の子に憧れているのです。

上の子は自分のペースで過ごしたい、下の子は上の子と同じようにしたい。子どもですから善悪の区別がないのは当たり前、自分中心に考えます。だから相手のものを奪ったり、イライラして叩いたりするわけです。



### 頭ごなしに怒っても解決しない！「認める」ことが第一歩

お互いに価値観が食い違うのですから、頭ごなしに怒っても解決しません。そこで提案したいのが「認める」ということです。

上の子のことは、「今はひとりになりたいのかな？」と見守り、待ってあげましょう。下の子には、「ホントだ！お兄（姉）ちゃんのおもちゃ、かっこいいよね！」と同調してあげましょう。

その上で次の3つを実践してください。ポイントは「伝える」です。

#### 1.存在のありがたさを伝える

きょうだいは、そもそもすばらしい出会いです。「きょうだいがいるから遊べることもあるよね？」「ケンカができるのも、お互いがいてくれるからだね」と伝えましょう。

#### 2.お母さんの気持ちを伝える

「お母さんはきょうだいゲンカを見ると、本当に悲しいよ」「お母さんは仲よくしている姿が好きだよ」と“Iメッセージ”で気持ちを伝えてください。目を見て話すこともポイントです。

#### 3.ケンカの本当の意味を伝える

きょうだいゲンカには、たくさん学びが詰まっています。しっかり意見を主張すること、相手の想いをくんで、譲ることや、許すこと、それぞれの大切さを伝えましょう。

このように「認めて、伝える」過程は、いわば成長の種を植えること。子どもたちはきっと成長した姿を見せてくれます。

実は、きょうだいゲンカは、仲がいい証拠でもあります。たまのきょうだいゲンカは大歓迎！

「どうぞ」と言えた、「ごめんね」が言えた、そんな成長の芽が見えたら、たっぷりほめてあげましょう！



#### 今日からできる！ほめ育ワンポイントアドバイス

今日もきょうだいゲンカをしていましたか？冬のケンカは「温まる」「体を寄せ合う」こともポイント。自然と気持ちがほぐれます。きょうだいで手をつないだり、抱きしめ合ったりできるよう、お母さんがサポートしてあげるといいですね！

## PROFILE



#### 原 邦雄（はら・くにお）

株式会社スパイラルアップ・一般財団法人ほめ育財団代表

世界10ヶ国に広がる“ほめ育【Ho-Me-I-Ku】”を世界共通語に！

世界中の人たちを輝かせる！をミッションに掲げ、子どもの教育にチャリティーをすることを目的に、「一般財団法人ほめ育財団」を設立。

大手コンサルタント会社で活躍後、飲食店の洗い場で4年間住み込み修行。多数の現場で培った経験と、脳科学・心理学をミックスした教育メソッドは、大人だけではなく幼児教育にも活用できるとして、国内外200社に導入され、のべ100万人以上の成長に繋がる。

ハーバード大学やザ・リッツ・カールトンホテルでのセミナーをはじめ、年間200回以上の講演を行う。著書は5冊。テレビ朝日「報道ステーション」やNHK、TV東京の池上彰氏特番にも登場。